

## 乾隆学区の取り組みについて

京都市小学校 P T A 連絡協議会 会長  
京都市立乾隆小学校育友会 会長  
山口修平

乾隆学区の「誰もが参加しやすい地域づくり」について発表させていただきます。  
まず、私は乾隆小学校の育友会(P T A)で会長を務めております。乾隆小学校育友会では、加入を悩まれる保護者も増えてきておりますが、P T Aの存在意義や地域での立場、子どもたちに向けてのスタンスを説明することによって保護者同士の距離を縮め、ほぼ100%の加入率を維持しております。ただ、児童数は138人と上京区で最も小規模の小学校であり、お年寄りや独居の方の増加には頭を悩ませております。子どもたちやお年寄り、全ての学区民が楽しく安心できる学区を目指し、以下のような取り組みを行っております。

## ～楽童くらぶ～

「楽童くらぶ」は世間で言う【おやじの会】のような組織になります。「地域の子どもたちは地域の全ての大人で守る」という趣旨で始めました。今年で21年目になります。

それまでは「P T A」や「体育振興会」「少年補導」と言った組織が全て独立した状態でした。横の繋がりはあったものの、それは個人的なものであり、横一列に並んだ状態。どちらかと言えば、その繋がりも希薄になりつつありました。また、それぞれに所属する人間の数も限られており、事業を開催したとしても規模の小さいものになっていました。そこで当時の校長先生と地域の先輩方とで議論を重ね、作り上げたものが「楽童くらぶ」です。地域で行われる全ての事業を「楽童くらぶ共催」という形をとり、全ての組織の動ける人が関わる。その結果やれることも増え、今では、いずれかの組織が「楽童くらぶ共催」で毎月何かを開催しています。

例としては…

- 1月→新年会(育友会 楽童くらぶ共催)
- 3月→追い出しコンパ(育友会 楽童くらぶ共催)
- 7月→花脊夏合宿(少年補導 楽童くらぶ共催)
- 12月→干支額作(女性会 楽童くらぶ共催) など

その中でも大きな目玉になっているのが4～6年生を対象に行う「織ーるど乾隆 織！ばん！BANG！」です。

乾隆小学校は西陣地域の真ん中にあります。地域には西陣織に関わる仕事をしている(している)大人の方がたくさんいらっしゃいます。その方々に西陣織や西陣の歴史を教わり、卒業制作として西陣織の幟(のぼり)を6年生が製織します。

学校には西陣織の織機があり、その操作方法や西陣織の柄について学区に住む製織経験者の話を聞く時間を作りました。地域の活動から離れ、学校との接点がなくなった方々に再度、学校や子どもたちとの関わりを持っていただいたのです。お願いするとどの方も喜んで受けて下さいました。

また、その他の事業では乾隆小学校の卒業生にもお手伝いを依頼しました。自分たちが小学生の頃に参加した事業に今度は地域の大人として協力していただきました。在校生からすると“地域のお兄さんやお姉さん”が助っ人として参加し、自分たちの経験を踏まえた形で共に時間を過ごしてくれる。

保護者はもちろん、お年寄りやお兄さん・お姉さんなど全ての世代で子どもたちを見守る。「楽童くらぶ」が掲げた目標が実になった瞬間でした。

「楽童くらぶ」には入会も退会もありません。地域に住む大人全員が「楽童くらぶ」のメンバーです。やれる時にやれる人が…なので人手が足りないこともありません。

そして今、乾隆小学校に在籍している子どもたちが近い将来、今度は地域の大人として次の世代の子どもたちと関わっていく。

そんな形が続いていくことを願って、私たちは活動しています。